



vol. 51

ギカイホウコク

11

NOV 2024

市民の血税のムダ使いは許さない はて?とを感じる 事業は見直しを!



特集 9月議会 & ケアラー支援条例

京都市のもったいないシリーズ③

燃料電池自動車のリース料・月13万円

すがや浩平

京都市議会議員事務所

市政に関するご意見・ご要望をお待ちしております。

日本維新の会への入党を希望する。 選挙(立候補)に興味がある。 ポスター掲示を許可する。

お名前	フリガナ	ご連絡先	() -
ご住所	〒		

※ ご記入いただいた個人情報は、ご連絡以外の目的では使用いたしません。

FAX	1 上記に記入し、キリトリ線で切る	2 右記番号までFAXする	3 後日ご連絡させていただきます	FAX 075-493-6564
Email	1 QRコードを読み取るかメールアドレスを入力する	2 項目を記入し、送信する	3 後日ご返信させていただきます	Email sugayakohei0919@yahoo.co.jp

※ 上記の枠内にご記入のうえ、写真に撮ったものをメールに添付し送信いただいても大丈夫です。



日本維新の会 党員・候補者募集

日本維新の会では、党の綱領にご賛同いただき入党くださる方と立候補者を募集しています。入党には年額2千円の党費と審査が、立候補には公募申請がそれぞれ必要となります。詳しくは「京都維新の会」ウェブサイトにてご確認ください。 <http://kyoto-ishin.jp/>



毎月第2土曜日に議会報告会を行なっています。

私、京都市議会議員の菅谷浩平は、毎月定例の議会報告会を下記の通り開催しております。是非ともお誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしております。

[日時] 毎月第2土曜日夕方5時～6時 [場所] 菅谷浩平 京都市議会議員事務所

ポスター掲示ご協力のお願 (ポスター/A2サイズ タテ594mm×ヨコ420mm)

ご自宅などの外壁・窓ガラス・フェンスなど、ポスターの掲示を許可していただける場所を探しています。

▲ポスター(A2サイズ)

著作権法上、本紙掲載の写真、図、文章及びデザインの無断転載、借用、複製は禁じられています。

発行元 菅谷浩平 京都市議会議員事務所
問い合わせ先 〒603-8232 京都市北区紫野東野町20-1 Tel 075-493-6564

次号予告 2024年12月15日(日)発行予定

9月議会&ケアラー支援条例

01 京都市9月議会

決算など計57議案を 可決・認定して閉会

京都市9月議会は11月6日に最終本会議を開き、左京区にある宝が池公園内にスケートボードなどが楽しめる新施設の設置に伴う条例改正案や、実質収支が過去最高の黒字となった一般会計をはじめ、市の2023年度の各会計の決算など計57議案を可決・認定して閉会した。

つぎの11月議会は、11月27日に開会する予定。



▲9月議会・最終本会議で市議団を代表して討論に立つ

02 「京都市ケアラーに対する支援の推進に関する条例」

全議員の共同提案でケアラーの支援を推進する条例案を 政令市ではさいたま市に続いて2例目：施行日は11月11日・「介護の日」

京都市議会は11月6日、日常的に家族などの介護や世話を担うケアラーの支援を推進する条例案を、67名の本議員の共同提案で9月議会に提出し、全会一致で可決した。

2020年に埼玉県が全国で初めてケアラー支援に関する条例を制定して以降、政令市ではさいたま市に続いて2例目、全国の自治体では31例目とみられる。

市議会は今年5月、京都府内では初となる同条例の制定に向け、各会派の代表者らでつくるプロジェクトチームを設置し、ケアラーの当事者や支援団体などからの意見聴取のほか、市民らからのパブリックコメントなどを実施し、条例案の作成を進めてきた。



▲条例案の作成のため意見聴取をおこなうなど検討を重ねる

同条例は、障害や高齢、引きこもりや重い病気などで援助を必要とする家族らの介護や世話をケアラーの責任とせず、社会全体で支えることを目指し、すべてのケアラーが「健康で文化的な生活を営み、自己実現を図ることができ、社会を実現すること」を目的としている。また、子どもが家族の世話をするヤングケアラーや、働きながらケアを担うワーキングケア

ラーなど、ケアをする側にも多様なケースがあることを前提に、支援のための情報提供や関係者との調整のほか、基本的施策の実施や、市や関係機関、事業者などの責務・役割と定め、施行日は11月11日の「介護の日」からとした。

市は今後、ケアラーの支援を社会全体で切れ目なく実現するための具体的な計画を策定することになる。



▲当事者や支援団体の関係者らも見守るなか条例が成立する

京都市のもったいないシリーズ③ 燃料電池自動車のリース料・月13万円

企業・団体のイベントなどに貸し出される裏で… 決算特別委員会の質疑で問題点を明らかにする

10月11日に開かれた京都市9月議会・決算特別委員会では、市環境政策局に対して、市の燃料電池自動車(FCV)を活用した水素エネルギーの普及促進事業について質疑をおこなった。

市は現在、計5台の燃料電池自動車(FCV)を公用車として所有しているが、そのうちの2台は、市が1台あたり毎月13万円のリース料を支払っている。

身近な形で再生可能エネルギー



▲市がリース料を支払うホンダの「クラリティ FUEL CELL」



▲市の燃料電池自動車(FCV)の事業について見直しを求める

を知ってもらおうと、市は企業・団体のイベントなどに車の貸し出しをおこなっているが、昨年度に貸し出されたのは計16回で、普段は市内にあるホンダの自動車販売店に体験乗車用として2台とも置かれていることが分かった。

次世代エネルギーとして注目を集めている水素エネルギーの普及促進事業とは言え、車の乗車体験にわざわざ市民の血税を投入する必要が果たしてあるのだろうか。

京都市議会議員・北区 菅谷 浩平 (38)

すがやこうへい



所属政党/日本維新の会
党の役職/京都府総支部政務調査会副会長
地域活動/消防団・少年補導・子ども見守り隊ほか

1986年に京都府京丹後市網野町で生まれる。京都府立網野高校、明治大学法学部を卒業後、大和証券株式会社で営業マンとして働く。2015年に28歳で京都市議選に北区から立候補し初当選。公約に掲げた議員報酬30%カットは自主的に実行中。

編集後記

Editor's note

15年ぶりに自民党と公明党の与党が過半数割れをし、野党では立憲民主党と国民民主党が躍進した一方で、

日本維新の会は議席を減らす結果となった今回の衆議院議員総選挙。与野党の勢力が伯仲したことで、国会にも緊張感が生まれ、政策論争が深まることへの期待が高まってきているように感じる。ところで、肝心の投票率はどうだったか。京都府内の小選挙区の投票率は、1996年に同制度が導入されて以降、3番目に低い53.12%という結果だった。さらに、府内26市区町村別で最も投票率が低かったのは、前回に続き京都市南区で、46.32%だった。こちらについても高まりを期待する。

菅谷浩平 京都市議会議員事務所

〒603-8232 京都市北区紫野東野町20-1
Tel 075-493-6564
Email sugayakohei0919@yahoo.co.jp



www.sugayakohei.com



@sugayakohei



facebook.com/sugayakohei



@sugayakohei